

# ほっとタイム 第46号

発行日 平成22年11月25日



福知山市社協

編集発行：福知山市ボランティアセンター  
社会福祉法人 福知山市社会福祉協議会

福知山市内記10-18  
福知山市総合福祉会館内  
TEL23-3573 FAX24-5282

## 傾聴ボランティア講座

住民参加のまちづくりが進み、活発にボランティア活動が展開されている中、福知山市ボランティアセンターでは、ボランティア活動が一層広がることを目的として、9月11日(土)に「人と人をつなぐ心のコミュニケーション」と題し、傾聴ボランティア講座を開催しました。



【市民・ボランティアセンター登録者約70人参加】

講演では、「夢こらぼ主宰 松尾やよいさん」から傾聴の心得や聞き上手のポイントなど、体験をとおして、お話をいただきました。話を聞くだけでなく相手の気持ちを大事に受け止める意義を楽しく学習しました。



## ボランティアミニ懇談会



ボランティアミニ懇談会は、昨年度初めて取り組み、今年度は、情報交換・意見交流を図ることを主に開催しました。

7月に4回、30団体と個人3名を合わせて、43名のボランティアのみなさんが出席してくださいました。

懇談会では、今回のような他のグループとの懇談は必要であると、多くの方のご意見がありました。しかし活動報告・交流会だけではなく、内容の充実した会にしてほしいとのご意見もあり、来年度は、ひと工夫した内容を検討していきます。



### 【感想】

いろんなボランティアの交流ができて良かった。  
活動が良く分かり、また、ボランティアの依頼をしたい。  
なごやかな雰囲気良かった。苦労話も聞けて良かった。  
よく似た内容グループは、コラボが出来るのではないかなと思う。コラボをやってみたい。  
各グループの活発な活動が聞けた事が参考になるし、今後につなげたい。  
ボランティアの重要性・健康で過ごせる幸せ、社会への恩返しをしたいと思っている。  
各グループのつながり、横の連携も大切であると思った。  
どのボランティアも地域で社会で学習し、それぞれが明るく、みんなで支え合っている様子がよかった。  
活動報告や交流会だけでなく、内容の充実した会にしてほしい。



**コラボ = コラボレーションの略**  
同じ目的のため、異なる分野の団体が協力して活動すること。 = 共働

## ボランティアセンター 視察研

9月2日(木) ボランティアセンター運営委員とボランティアさん14名が、NPO法人たんご村(宮津)とみんなの水車広場(雲原)に視察研修に行きました。両方とも、地域でのボランティア活動をとおして、みんなが助け合える地域づくりの場として地域活性化交流施設を開設されており、地域活動について学び有意義な研修になりました。

ボランティアセンターとしては、今後のボランティア事業につなげていきたいと考えています。

阪神淡路大震災でのボランティアをきっかけに、みんなが助け合える環境作りが普段から大切と「宮津屋」を開設され、高齢の方や障がいの方が施設を運営されています。その後、地域協働の取り組みが行われるなど、地域コミュニケーションの場として温かい輪を広げた活動をされています。



みんなの水車広場(雲原)

NPO法人たんご村(宮津)



地域ボランティアとしての地域活性化に取り組みされており、地元の木材を切り出し、手づくりで水車を作製し「みんなの水車広場」を開設されました。施設の中には、「おくどさん」や「いろり」を復元され、日曜日には、うまいもん市として地域の野菜等を直売されるなど「地域力」を活かされた活動をされています。

# ボランティアのつどい



ボランティアのみなさんでつくる「ボランティアのつどい」を福知山ボランティア連絡協議会との共催で開催しました。本所・支所、それぞれの地域でボランティアのみなさんが企画・運営し、楽しい「つどい」として交流を深めました。

ザ・やくの

9月4日(土)実施

大江ボランティアフェスタ

10月4日(月)実施



手話と読み聞かせの  
コラボが楽しかった。

フォトフレーム作  
りが楽しかった。



【ふれあいの里福祉センター 参加者 37名】

【老人福祉センター 舟越会館 参加者 63名】

夜久野手話サークルさんと朗読サークルさんのコラボでの発表や他のグループ発表・新聞紙のエコバック・福知山音頭をみなさんで踊って交流をしました。また、調理ボランティアさんにぶっかけそうめんを作っていたき美味しくいただきました。

きよしのズンドコ節の健康体操をみんなで楽しく体操をし、また、フォトフレーム作りでは、班ごとに写した写真を入れ記念の作品ができました。また、ボランティアさん手作りのさつまいもスティックをいただきながら楽しく座談会をしました。

みわの会

10月22日(金)実施

ボランティアのつどい

10月23日(土)実施



音楽が人の心を大きく動かす  
ことや知らない人同士のふれ  
あいができることが分かった。

ボランティア人口を  
増やして活動を広げ  
ていきたい。



【東部保健福祉センター 参加者 40名】

【総合福祉会館 参加者 65名】

要約筆記サークルさんと各グループがコラボして、活動報告を行いました。その後、地域ボランティアの実践講演として「手作り水車から自立した地域作り」を考えると題して雲原砂防イベント実行委員 事務局長の木村さんに講演をしていただきました。また、ボランティアさんに牛乳かんを作っていたき、交流をしました。

「音楽療法入門 -音楽のカー-」と題して、東加古川病院音楽療法士・臨床心理士の鈴木暁子さんに講演していただきました。講演では、音楽がなぜよいのかや音楽療法の定義など、音楽を聴いたり歌ったりしながら、また、音楽ストレッチも行い、楽しく学習しました。



10月1日(金)赤い羽根共同募金の街頭募金を、福祉団体の方々やボランティアさん77名の協力をいただき、市内8か所で募金活動を実施しました。

また、イベント募金として産業フェアなどにも、ボランティアさんにご協力いただきました。

(10月中のイベント募金参加者：37名)



10月23日(土) イベント募金  
産業フェア (三段池体育館)



## 社会福祉体験学習(ボランティア体験)

社会福祉体験学習は、中学生・高校生のみなさんが、施設での体験やボランティア体験とおして、高齢の方・障がいのある方たちとのふれあい、いのちの尊さや思いやり、やさしさ、人としての本当の強さを培うこと等、学ぶことを目的に行っています。

施設やボランティアのみなさん、ご協力ありがとうございました。

受け入れ施設：18施設

参加者：中学生44名・高校生50名

読むスピードが速くて書くのが追いつかず、難しかった。どういった時に必要な仕事なのか教えてもらいました。

今日、体験をしたことで、人と交流することが、こんなに笑顔になるんだと実感しました。



### \* レクリエーション体験

ボランティアのみなさんと歌をうたったり、折り紙をしたりして楽しい時間を過ごしました。

### \* 要約筆記体験

要約筆記サークルのみなさんに指導していただきながら、実際に要約筆記の体験をしました。

### \* アットホーム舟越(ミニデイサービス)一日体験

ボランティアグループのみなさんと一緒にミニデイサービスのお手伝いをしながら、利用の方と交流をしました。

### \* 朗読体験

朗読奉仕サークルのみなさんに指導していただきながら、広報誌等を朗読、ダビングをし、視覚障がいの方に声を届けました。

### \* 編集後記 \*

寒くなってきましたが、体調はいかがでしょう？かぜをひかずに過ごしたいものです。

傾聴ボランティア講座では、傾聴の心得など楽しく教えていただき、現在傾聴ボランティアに7名の方が登録していただきました。ニーズを把握して利用者調整を行っていきます。

この時期も行事が多く、ボランティアのみなさんにご協力をお願いすることが多くなりますが、よろしくお祈りします。

\*\*\* 福知山市社会福祉協議会 \*\*\*

本所：〒620-0035 内記10-18 総合福祉会館内 TEL:23-3573 FAX:24-5282 【担当：松田】	三和支所：〒620-1442 三和町千束375 東部保健福祉センター内 TEL:58-3713 FAX:58-3732 【担当：大槻】
夜久野支所：〒629-1322 夜久野町平野1030 ふれあいの里福祉センター内 TEL:38-9000 FAX:38-9012 【担当：藤本】	大江支所：〒620-0305 大江町波美235 老人福祉センター舟越会館内 TEL:56-0224 FAX:56-1654 【担当：福西】